

木質工事特記仕様書（2）

(4) ボルト接合

- ・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。
- ・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
- ・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
- ・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
- ・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(5) コーチスクリュー接合

- ・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。
- ・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。
- ・ネジ部の先孔の径：比重4以上の樹種・・・ネジ径の60～70 %
その他の樹種・・・ネジ径の40～70 %
(長さはネジ部の長さと同寸とする。)
- ・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではいらない。
- ・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

(6) ドリフトビン接合

- ・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトビンの変形にともなう部材の開きを防止する。
- ・ドリフトビンは孔に密着させる。
- ・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(7) ジベル接合

- ・本部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
- ・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(8) 既成金物の接合

- ・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合面材の間が密着するように締め付ける。

(9) 接着接合

- ・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
- ・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

(10) その他の方法による接合

- ・使用材料および使用方法是構造図によるものとし、監理者の承諾を得る。

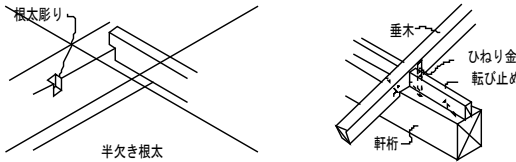
7. 軸組構法接合部の標準仕様

(1) 根太、柱木と横架材

- ＝落とし込み根太：横架材に大入れor根太掛け＋斜め釘＝
- ＝半欠き根太：横架材に大入れor懸掛け＋斜め釘＝
- ＝転ばし根太：根太が直角断面の場合、横架材に端突釘止め

根太が縦長角断面の場合、斜め釘2本＋転び止め

- ・柱木：斜め釘
- ・風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



(2) 間柱と横架材

- ・上下横架材に深さ3mm程度大入れ＋斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け＋斜め釘

(3) 釘の最小間隔及び最小端あき距離

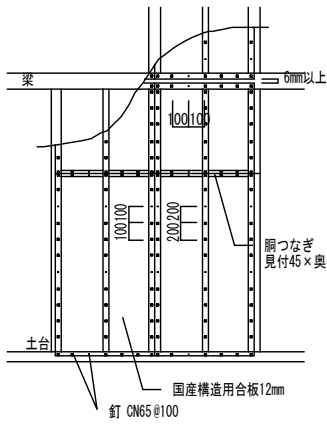
		加力方向		
		縦 方 向	横 直 交 方 向	
縦向き	E1	15d	10d	
	P1	12d	10d	
横向き	E2	5d	8d	
	P2	5d	8d	

(4) ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

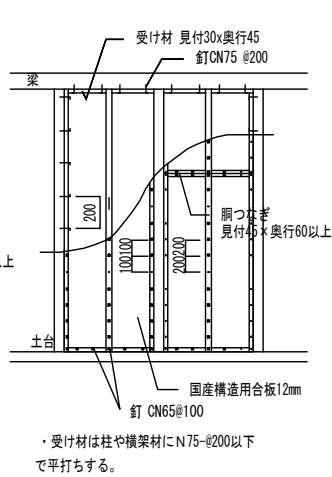
		加力方向		
		縦 方 向	横 直 交 方 向	
縦向き	E1	7d (荷重負担側) 4d (荷重非負担側)	7d	
	P1	7d	t/d-2 3d 2≤t/d<6 3d~5d t/d<6 5d	
横向き	E2	t/d≤6 1.5d t/d<6 1.5dかつP2/2	特記による。特記のない場合は以下の数値とする。 4d (荷重負担側) 1.5d (荷重非負担側)	
	P2	3d	4d	

(5) 面材耐力壁

1. 大壁造の場合 (4.0倍)

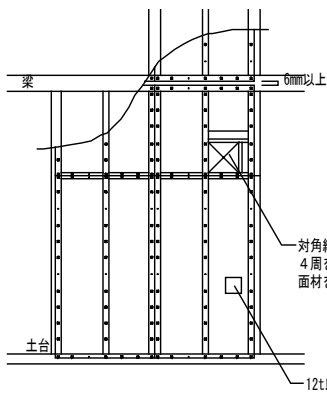


2. 真壁造の場合 (4.0倍)



- ・受け材は柱や横架材にN75-@200以下で平打ちする。

1. 小開口付耐力壁

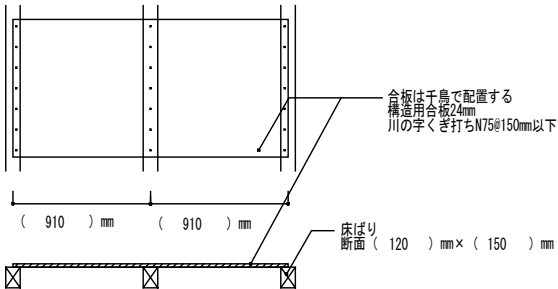


- ・対角線が50cm程度以下の場合、4周を受け材で補強して、面材を釘打ちする

- ・12t以下 (144mm以下) の場合、補強不要

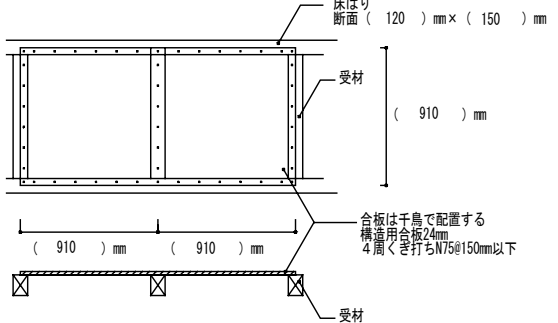
(6) 床組

1. 根太なし・直張り・川の字くぎ打ち・品確法床倍率1.2の取合い

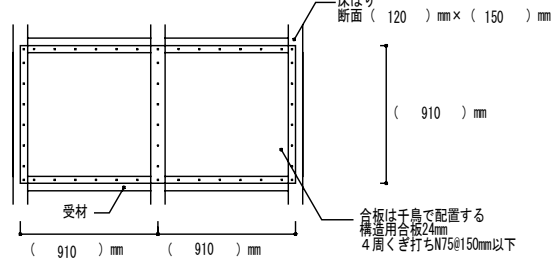


2. 根太なし・直張り・4周くぎ打ち・品確法床倍率3.0の取合い

○合板の長辺を床ばりに固定する方法



○合板の短辺を床ばりに固定する方法



担当者：1級建築士 第264277号 近山 富貴



一級建築士事務所
株式会社

堤 建築設計事務所

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通二番町715番地 TEL 025-222-6509 FAX 025-229-1702
E-mail: tutumi-a@pearl.ocn.ne.jp 管理建築士 1級建築士登録第125015号 野沢 道行

設計番号

1711

作成年月日

2017/07/31

管理技術者

野沢

主任技術者

近山

作成担当者

朝妻

工事名称

おもてなし広場農産物加工施設・配送施設整備建設工事

図面名称

木質工事特記仕様書その(2)

区分

実施設計

縮尺

—

図面番号

S-03

意

電

機

外